

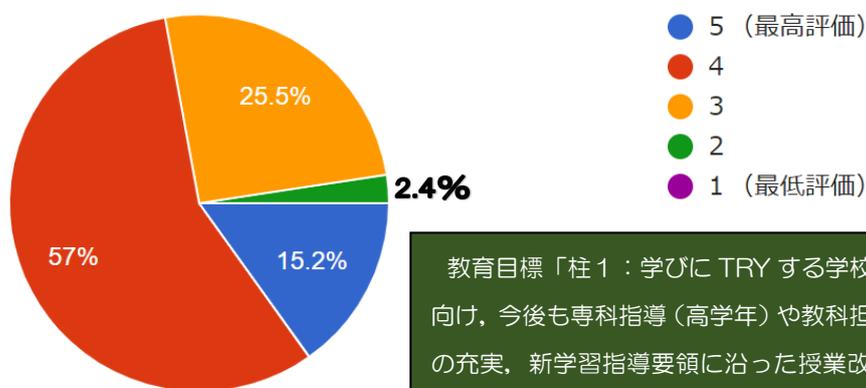
令和5年度 教育活動アンケート（後期）の結果から

保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育に際し、御理解と御協力を賜り本当に感謝しております。

さて、過日御協力いただきました「教育活動アンケート」につきまして、全体の集計結果（回答数165件）をお知らせするとともに、お寄せいただいた御意見につきまして、次年度の学校運営の参考とさせていただきます。

質問1 お子さんは、学習内容をきちんと理解していますか？

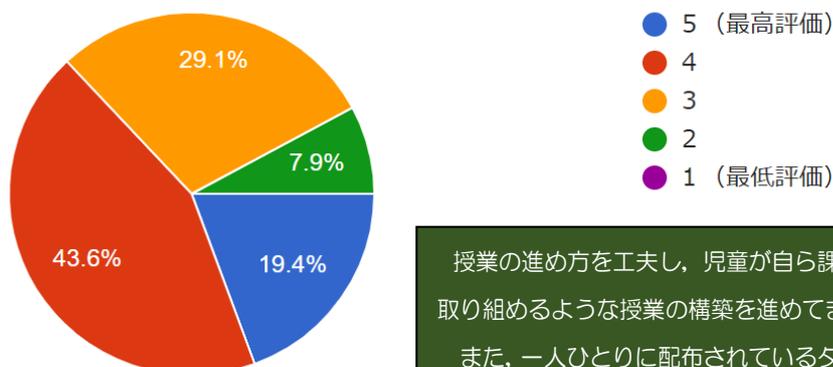
165件の回答



教育目標「柱1：学びにTRYする学校」の実現に向け、今後も専科指導（高学年）や教科担任制の一層の充実、新学習指導要領に沿った授業改善を図りながら、知識・技能の確実な定着を目指すとともに、より主体的で対話的な学習ができるよう努めていきます。

質問2 お子さんは、わからないことやもっと知りたいことがあった時に、自分から調べようしたり、他の人に尋ねたりして学びを深めていますか？

165件の回答



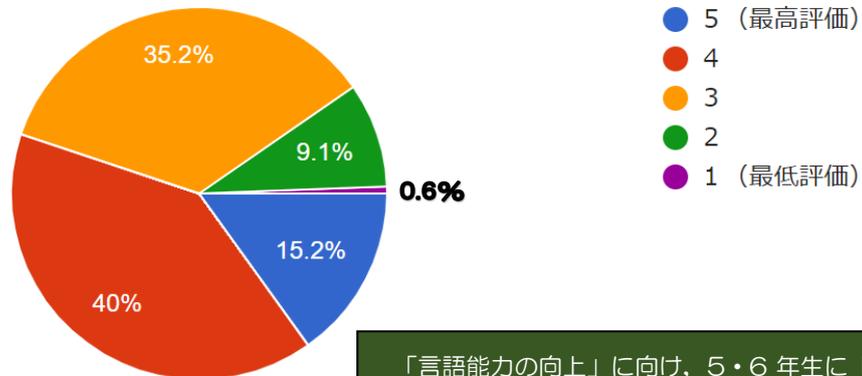
授業の進め方を工夫し、児童が自ら課題解決に向けて取り組めるような授業の構築を進めてまいります。

また、一人ひとりに配布されているタブレットについても、持ち帰る日を増やすなどしながら、より効果的で自主的な活用ができるよう、学校全体で取り組んでいきます。



質問3 お子さんは、自分の考えや伝えたいことを、きちんとした言葉で相手に伝えたり、文章にして書いたりすることができるようになってきましたか？

165 件の回答



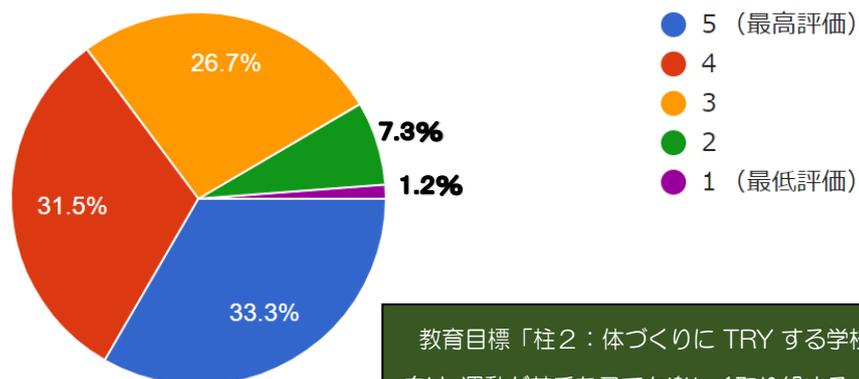
「言語能力の向上」に向け、5・6年生に「国語専科」の教員を配置し、「読解力」と「表現力」の向上に努めているところです。

また、本校の児童が苦手としている、「条件つき作文」や「日記」、「要約」、「資料のまとめ」等にも学校全体で取り組み、引き続き苦手克服に努めていきます。



質問4 お子さんは、体をよく動かし、体力をつけていますか？

165 件の回答



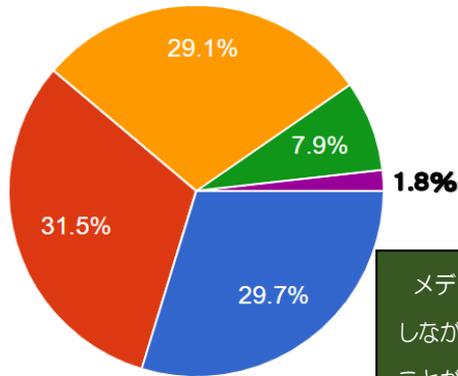
教育目標「柱2：体づくりに TRY する学校」の実現に向け、運動が苦手な子でも楽しく取り組めるように授業内容を工夫したり、逆に得意な子が自分のスキルをどんどん伸ばしたりしていけるような体育の時間になるよう授業改善を行っていきます。また、運動会やマラソン記録会、遠足等の行事を通じて児童の体力向上に努めていきます。

さらに、全学年で取り組んでいる「新体力テスト」が子ども達の励みとなるよう、結果の考察をしっかりと行い、その効果的な活用についても、引き続き検討して参ります。



質問5 お子さんは、生活リズムに気をつけ、規則正しく健康的な生活を送っていますか？

165 件の回答



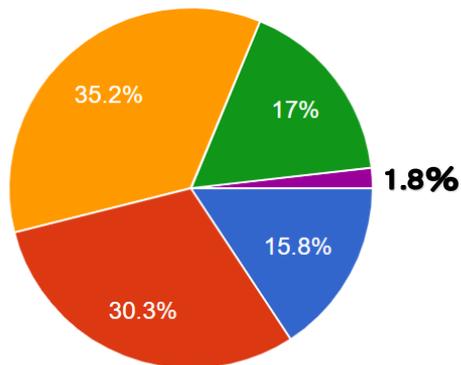
- 5 (最高評価)
- 4
- 3
- 2
- 1 (最低評価)

メディア依存の防止も含め、上中校区の他の学校とも連携しながら、自ら生活リズムを整え、運動に親む機会を持つことができるよう引き続き指導していきますが、保護者の方の御理解と御協力も不可欠です。

毎年の調査でも、朝ごはんをしっかりと食べている児童の方が学力が高い傾向にあります。「はやね・はやおき・あさごはん」が日常となるよう、御協力をお願いいたします。

質問6 お子さんは、テレビやゲーム、動画などの視聴時間に気をつけるとともに、SNSなどの利用にも注意を払っていますか？

165 件の回答



- 5 (最高評価)
- 4
- 3
- 2
- 1 (最低評価)

学校でも情報モラルについての学習はしていますが、テレビやゲーム、動画視聴や SNS 利用については御家庭の協力が不可欠です。

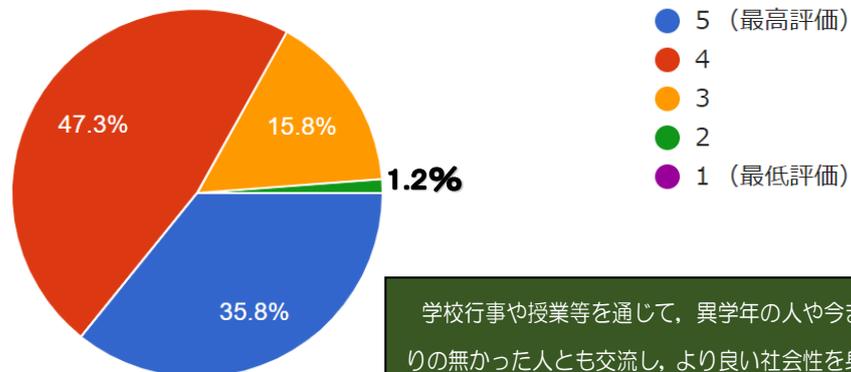
左のグラフは、同じ質問を児童にたずねた結果です。保護者の見解と差異があり、7 割以上の児童が概ねきちんと利用していると答えています。この結果を受け、今一度お子さんと使い方や使用時間についてお話をしてみるきっかけにいただければと思います。

質問 6



質問7 お子さんは、周りの友達に優しい気持ちで接し、仲良くしたり遊んだりしていますか？

165 件の回答



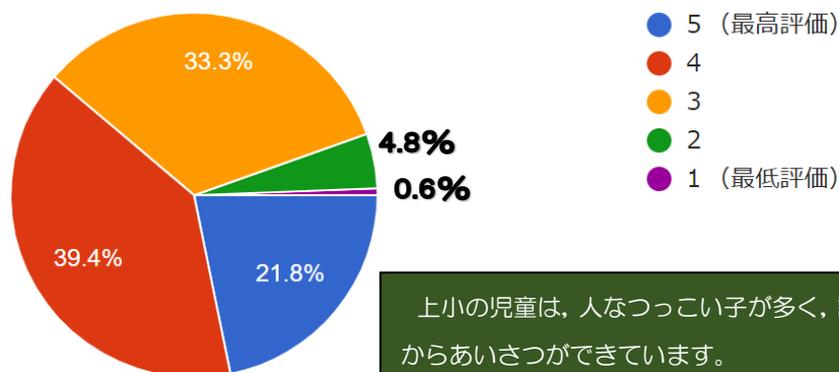
学校行事や授業等を通じて、異学年の人や今まであまり関わりの無かった人とも交流し、より良い社会性を身につけていけるようにしていきます。

さらに、コロナ禍でストップしていた、高学年による新入学児童のお世話や、運動会での合同演目等を通じて、周りの人を思いやる気持ちを育てていきたいと思っています。



質問8 お子さんは、自分から進んであいさつをしたり、礼儀正しい行動がとれたりしていますか？

165 件の回答



上小の児童は、人なつっこい子が多く、誰にでも自分からあいさつができています。

その一方で、目上の人に対しても友だちと同じような感覚で接したり言葉遣いをしたりするなど、これからきちんと礼儀等を身につけていかなければならない児童が多いのも現状です。

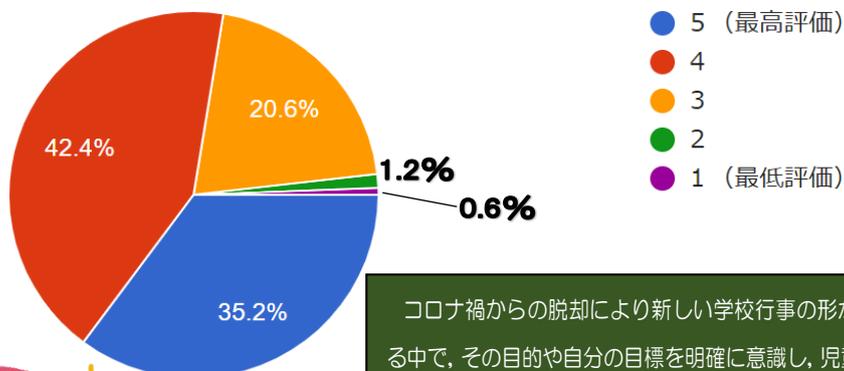
また、校内では比較的自分からあいさつができていても、近所の人や地域の方々には、なかなか自分から積極的にあいさつできていないようです

教育目標「柱3：心づくりに TRY する学校」の実現に向け、『時と場合に応じた挨拶の励行と言葉遣い』について、引き続き指導を重ねていきます。



質問9 お子さんは、学校行事の時に、自分なりに頑張ることを決めて取り組むことができますか？

165 件の回答

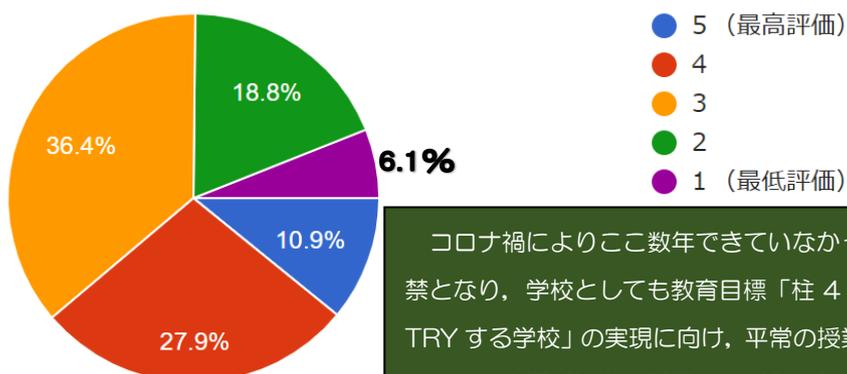


コロナ禍からの脱却により新しい学校行事の形が求められている中で、その目的や自分の目標を明確に意識し、児童が主体的に学習や行事に取り組めるよう、学習の到達目標を教師が示したり、行事の運営にも児童が加わるような計画を立てたりしながら、自主性を育ててきました。

今回お寄せいただいたご意見の中にも、「目標を持って生活できている。」という文言が複数みられるようになってきましたので、さらに伸ばしていけるよう今後も努力していきます。

質問10 お子さんは、普段から地域の方と関わりをもったり、地域の行事に参加したりしていますか？

165 件の回答

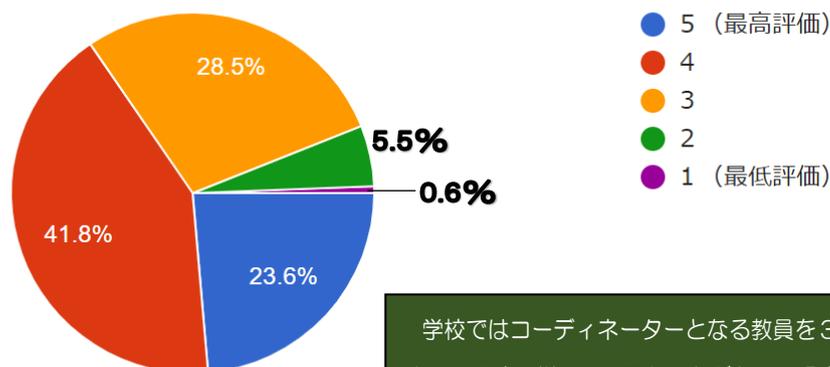


コロナ禍によりここ数年できていなかったことが解禁となり、学校としても教育目標「柱 4：つながりにTRY する学校」の実現に向け、平常の授業はもちろんのこと、土曜授業等も活用しながら、積極的に街へ出での学習を行ったり、学校評議員会や PTA の協力を得ながら、外部講師による授業を積極的行ったりしてきましたが、もうひと頑張り必要という結果になりました。

引き続き、関係各機関とも協力しながら、上小がコミュニティースクールとしての役割を果たしていけるように努めていきます。

質問11 学校は、お子さんに不安なことや困ったことがあった時に、相談できる場になっていますか？

165 件の回答



学校ではコーディネーターとなる教員を3名配置し、お子さんの発達の様子で心配なことがあった場合など、おうちの方からの相談があった場合に担任と連携しながらすぐ対応できる体制を整えています。

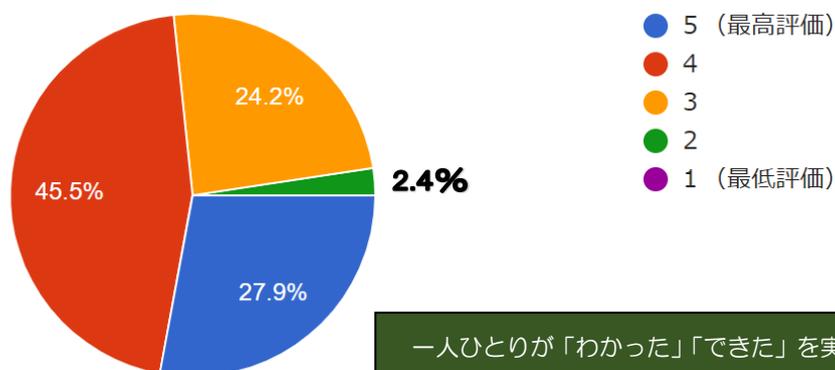
また本校では、「ことばとまなびの教室」を開設しており、発達特性に応じた指導・支援をする場として、他校も含めて多くの保護者や児童に活用していただいています。

ただ、アンケート結果を見ると、まだ6%を超える保護者の方が、学校が相談できる場になっていないと回答されていますので、今後も外部の専門家等とも連携し、子育てや児童の発達について、共に考えていける場となるよう努力していきます。



質問12 学校や学級は、お子さんが学習したり生活したりする上で、満足できる場となっていましたか？

165 件の回答



一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できるような授業づくりにこれからも励むとともに、授業以外の部分でもその子の良さが認められ、自己有用感や自己肯定感が高められるように全教職員で見守っていきます。



保護者の皆様からいただいたご意見・ご感想等

この度のアンケートに際しまして、たくさんの保護者の方からご意見・ご感想をいただきました。普段我々教職員が見ることができない、ご家庭でのお子様の様子を教えて下さる方も多く、今後の支援・指導に役立つ部分も多くありました。

いただいたご意見ご感想につきましては、全教職員が全てに目を通し、授業改善や学校改善、学校行事の起案等に活用させていただきます。

以下、いくつかのご意見（一部抜粋あり）を紹介させていただき、学校として回答させていただきます。

もう少し勉強に関して積極的になってくれたらいいなと思います。得意分野と苦手な分野が見えてくるようになりました。家でも国語に関して復習や予習をさせていこうと思います。

⇒ 学年が進むにつれて、自分の得意不得意がはっきりしてくるのは本人が成長している証の1つですが、学校では苦手な事であっても興味を持って取り組めるよう授業の進め方を工夫したり、個別最適な学習になるように努めたりしながら、子どもたち一人ひとりが少しでも自分から学習に臨めるように配慮しています。

今年度から始まったタブレットでの宿題配布もその1つですが、やはりご家庭の協力無しでは、まだまだうまくいかないことも沢山あります。学校と保護者（ご家庭）が連携して、学習面はもちろん生活面についても指導していくことがこれからも大切になると思いますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

SNSについて、うちは厳しくしていますが、周りがそうでないと影響を受けます。学校で、SNSの視聴に何時間もかけることの意義や価値について教えてからタブレットの等の活用をしてほしい。

⇒ 学習用タブレットの活用については、使うときの約束や管理の仕方について学校でもお便りを配布し、授業で使うときなどにはその都度約束事の確認などをしながら進めています。また、学年に応じた内容で『情報モラル教育』を実施し、その中でSNSの利用についても子どもたちに指導しています。

ただ、家庭にあるスマートフォンやタブレット、パソコンの使用については、家庭内できちんと約束事を決めていただくなど、保護者の方をお願いしなければならない部分が多くあります。

学校でも引き続き『情報モラル教育』に力を入れていくとともに、保護者の方々への啓蒙活動も行っていきます。

子どもが不安定になる頻度が増えてしまい、心身がやられてしまいましたが、先生に話を聞いて頂いたり、心理カウンセリングを経て、子どもとの関わり方について改めて考えたり、変えたりすることができ、前よりも心にゆとりを持つことができているように思います。

また、子どもも最近は不安定にならずに済んでいるように思います。ありがとうございました。引き続き、宜しくお願いします。

⇒ 本校では、保護者の方がお子さんのことで相談したいことがあるときには、担任はもちろんですが、3名のコーディネーターや管理職が関わり、場合によっては外部機関との橋渡しもさせていただきます。お便りしております。

入学当初は、慣れない学校生活で気持ちが不安定になることも多いですし、学年が進むと学習面や対人関係の悩みなども多くなってきます。

話すことで気持ちが楽になったり、解決への糸口が見つかったりすることもありますので、まずは悩み事があっても抱え込まず、相談していただければと思います。

担任の先生だけではなく多くの先生方に関わっていただくことで、様々な考え方や人との関わり方を学んでいるようです。家では、「学校が楽しい!」と、友達や先生方とのエピソードを嬉しそうに教えてくれます。先生方にはそのような環境を整えていただき、心から感謝しております。

⇒ 学校の役割は、学力を身に付けさせること、友だちや教職員との関わりの中で社会性を養うこと等がありますが、係活動や委員会活動、休み時間や行事などを通して、自分の考えと違う人と交わることで精神的な成長を促すこともその1つです。

今後も、子どもたちが安心して生活でき、保護者の方と一緒にお子さんの成長を見守ることができる学校となるよう職員一同努力して参ります。

教科担任について。親は担任の先生とは話す機会や会う機会がありますが、教科担任とは一切接点がなくどのような方なのかわかりません。教科担任の授業風景を見たいです。

⇒ 長引いたコロナ禍により機会が減っていた参観日ですが、ようやくいつものような形で行えるようになってきました。先にご案内したように、2月15日には分散ではありますが各教室での授業参観を予定しています。

お話にあります「教科担任」や「専科」による授業の参観については、コロナ禍も明け、通常の授業参観が行えるようになってきておりますので、担任による授業とバランスをとりながら設定する方向で考えております。

朝の登校しぶりは減ってきましたが、先生方にご迷惑をお掛けして申し訳ありません。今後とも宜しく願います。

⇒ 登校しぶりや不登校については、全国的にもその数が増えており、北斗市も例外ではありません。特に環境が大きく変わる入学当初や長期休業明け、進級時などに多くみられます。

ただ、その原因がはっきりとわかる事例はほとんどなく、本人でさえ「どうして学校に行きたくないのかわからない」という場合もあります。

本校では、適応指導教室「ステップルーム」を開設し、そのような児童が少しでも学校(教室)に気持ちが向くよう、環境整備やコーディネーターを中心とした教育相談の充実を図って参りました。

まだまだ、全てのお子さんや保護者の方の思いに応えることはできておりませんが、誰にでも起こりうる登校しぶりや不登校への対応にこれからも力を入れて参りますので、何かありましたら遠慮せず学校にご相談ください。

お忙しい中、アンケートに御協力いただき本当にありがとうございました。
今後も本校の教育活動に際し、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

上磯小学校